

# FB100 フライバーキット 取り付け & リギング マニュアル

**!** **WARNING:** 設置は資格や経験を持った専門業者が必ず行ってください。不適切な設置は製品の破損、怪我や死亡事故の原因となります。また使用者は必ず安定性と安全性を確認して人や建造物に損害を与えないようにしてください。

スピーカーを吊るす前に、必要な計算を全て行い、すべての部品が公称作業負荷範囲内で使用されていることを確認してください。設置の安全性レベルは最も弱い部品により決定付けられます。

## はじめに

DRM12A および FKDRM18S を取り付けした DRM18S スピーカーは、FB100 フライバーの下に吊り下げることができます。またフライバーは DRM12A をグランドスタックする際のベースプレートとしても使用されます。DRM18S を床に設置する場合、フライバーは不要です。

この説明書では、まずスピーカーを FB100 フライバーから吊り下げる方法について説明し、その後フライバーをベースプレートとして使用しグランドスタックする方法について説明します。フライバーをベースプレートとして使用する際、事前にグランドスタック用フットキットをフライバーに取り付ける必要があります。設置方法に関しては説明書の後半で説明しています。

本製品を設置・使用する前に、この説明書を注意深く読んでください。また、製品の仕様詳細については、製品のマニュアルを参照してください。この説明書に記載されている注意事項に従わなかった場合、スピーカーやフライバーの破損や、事故・怪我の原因に繋がる場合があります。

### FB100 フライバーキット (# 2050041) 内容:

アイテム	数量	内容
A	1	FB100 フライバー
B	1	グランドスタック用フットキット

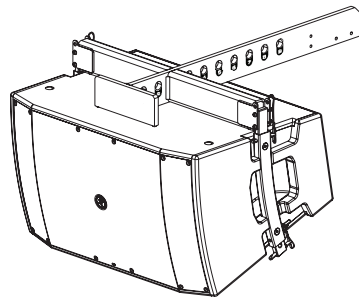
### 必要なアクセサリ (別売):

フライウェアキット (# 2051056)

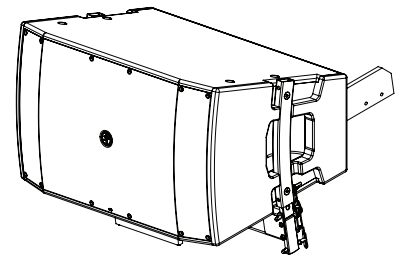
### 必要な工具 (別売):

4 mm 六角スパナ

10 mm (もしくは調整可能な) レンチ



DRM12A + FB100  
フライング



DRM12A + FB100  
グランドスタック

**!** **WARNING:** FB100 フライバーは 2つの FKDRM18S を取り付けした DRM18S と 4つの DRM12A を吊り下げ、10 : 1 の設計要素で 205 kg の作業荷重制限に対してテストされています。作業荷重制限を超える荷重を絶対に加えないでください。

**!** **WARNING:** FB100 フライバーは 4つの DRM12A を吊り下げ、安全率 10 : 1 で、112 kg の作業負荷限界に対してテストされています。作業負荷限界を超える荷重を絶対に加えないでください。

FB100 フライバー x 1 の重量 : 12.2 kg

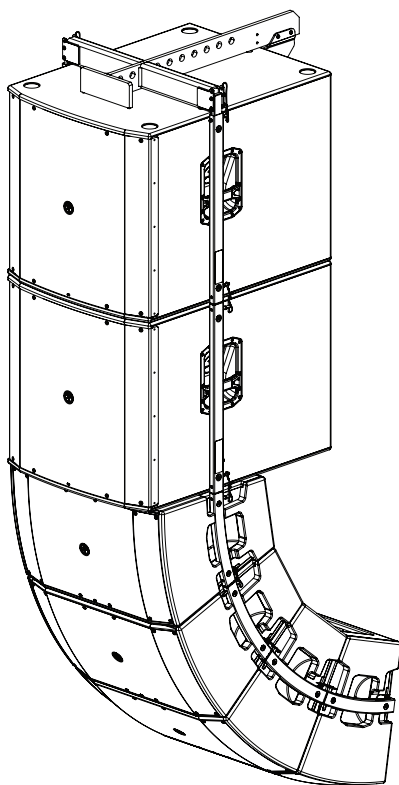
DRM18S x 1 の重量 : 46.3 kg

DRM12A x 1 の重量 : 28.1 kg

# DRM18S と DRM12A スピーカーの吊り下げ

FKDRM18S を取り付けた DRM18S と DRM12A は、同一アレイに吊り下げることができます。その際、FKDRM18S を取り付けた DRM18S は DRM12A の上に設置してください。そのため、FB100 フライバーには最初に最初に DRM18S を取り付けてください。

1 本の FB100 フライバーには最大で 2 台の FKDRM18S を取り付けた DRM18S と 4 台の DRM12A を取り付けることができます。



## 1. シャックルの位置

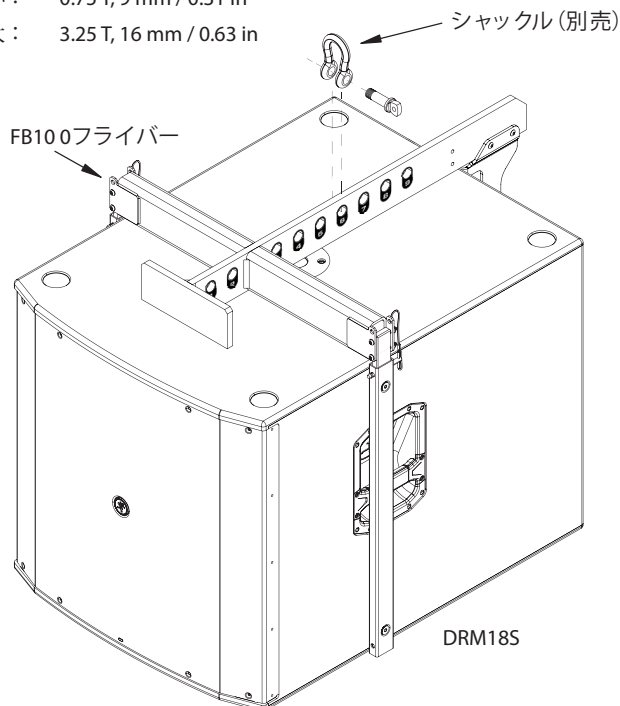
フライバーを吊り下げるシャックルは製品に同梱されていませんので、別途準備してください。シャックル取り付け位置は、必要なアレイ構成と照う角度によって決まります。

## 2. シャックルの取り付けとホイストケーブル

スクリーピンアンカーシャックルまたはセーフティボルトアンカーシャックルを使用して、ホイストモーターまたはホイストケーブルをフライバーに固定してください。許容シャックルサイズは以下の通りです。

最小： 0.75 T, 9 mm / 0.31 in

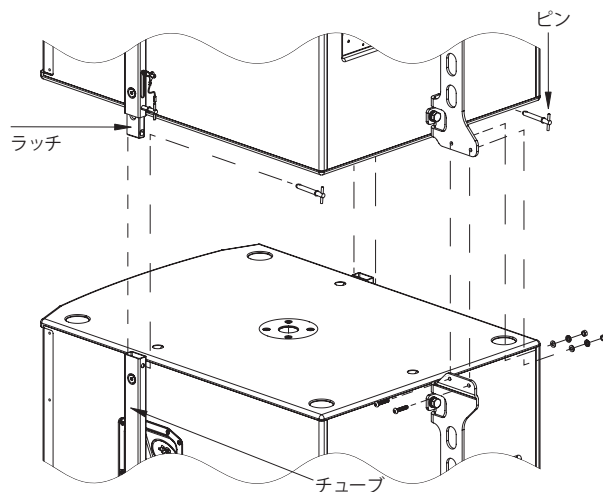
最大： 3.25 T, 16 mm / 0.63 in



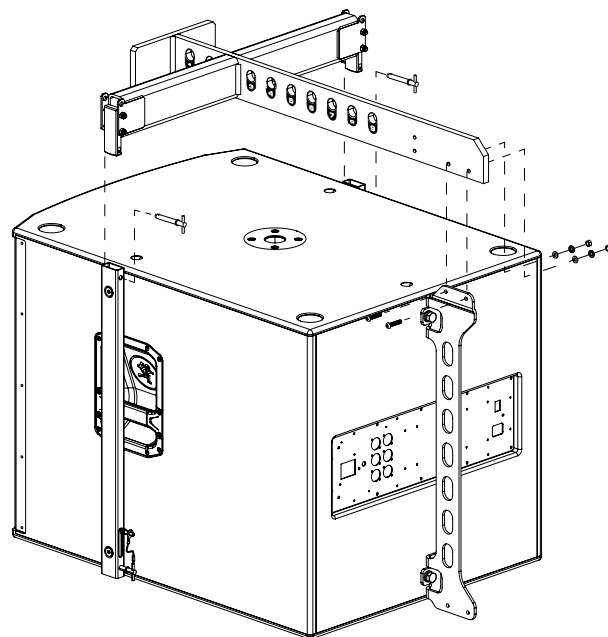
## 3. DRM18S アレイの吊り下げ:

DRM18S を持ち上げる際やスタックする際、また FB100 フライバーから吊り下げる際の準備は最低 2 人で行う必要があります。

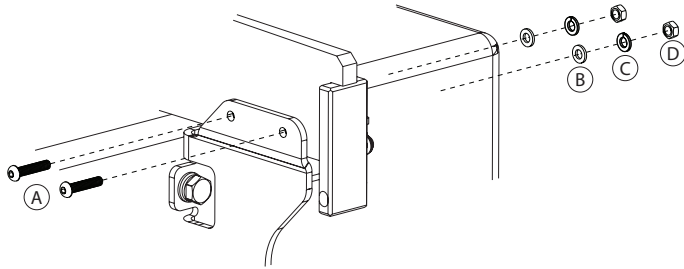
- DRM18S を吊り下げたいポイント下の安定した平らな場所に置いてください。
- 付属のマニュアルの説明に従って、DRM18S サブウーファーに FKDRM18S リギングキットを取り付けてください。
- 必要に応じて追加の FKDRM18S を取り付けた DRM18S サブウーファーを積み重ねてください。
- FKDRM18S を取り付けた DRM18S サブウーファーには、2 本のリギングチューブの下部にラッチが格納されています。これらのラッチはクイックリリースピンによって格納位置に固定されています。アレイで 2 つのサブウーファーを使用する場合は、一番上のサブウーファーの両側のピンを取り外してください。ラッチが外れ、その下にあるサブウーファーの両側のチューブに挿入されますので、チューブの穴をラッチの穴に合わせ、クイックリリースピンを完全に挿入して固定してください。



- FB100 フライバーのクイックリリースピンを取り外し、前面の 2 つのラッチを一番上にある FKDRM18S を取り付けた DRM18S のリギングチューブに挿入してください。チューブの穴を掛け金の穴に合わせ、クイックリリースピンを完全に挿入して固定してください。



f. 下の図を参考にし、FKDRM18S リギングキットに付属の M6 ネジ (A)、フラットワッシャー (B)、ロックワッシャー (C)、および六角ナット (D) を使用して、FKDRM18S のリアブラケットを FB100 フライバーの背面に取り付けてください (リギングキットのパーツとして DRM18S サブウーファーに取り付けられています)。二台目の DRM18S を吊り下げる際は下段の DRM18S のリアブレースを、上段の DRM18S のリアブレースの底部に取り付ける必要があります。4 mm の六角レンチと 10 mm (または調整可能な) レンチを使用して、すべてのネジを締めてください。

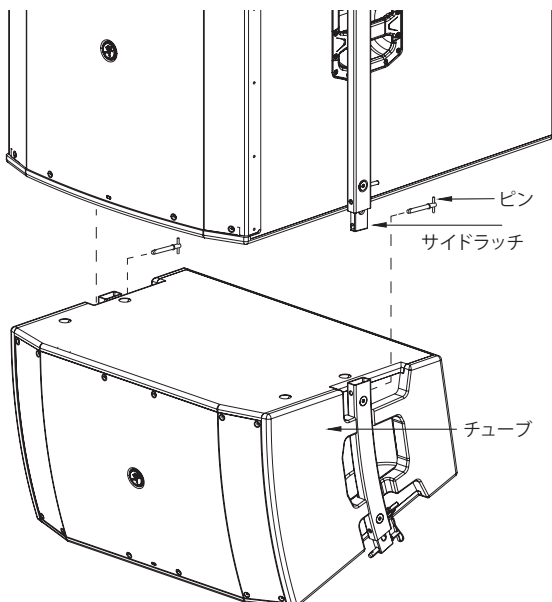


g. 目的のトリムの高さ、または次の作業を行うのに適した高さまでアレイを吊り上げてください。

#### 4. 吊り下げられた FKDRM18S を取り付けした DRM18S サブウーファーに DRM12A スピーカーを取り付ける

DRM12A を持ち上げる際や、吊り下げられた DRM18S への取り付けの際は最低 2 人で行う必要があります。

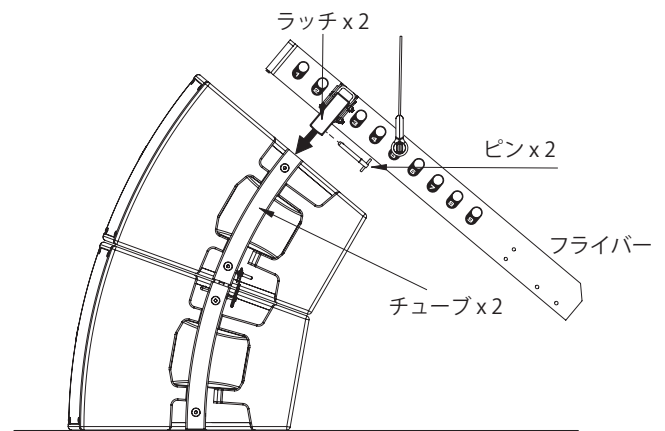
- 一番下に吊り下げられた FKDRM18S を取り付けした DRM18S サブウーファーの両側にあるラッチを格納位置から下げてください。クイックリリースピンを外すことでラッチが取り付け可能位置まで下がります。DRM12A の底部のラッチは、格納位置に固定されたままになります。
- リギングチューブが DRM18S サブウーファーの両側の掛け金と揃うように、DRM12A スピーカーを持ち上げて配置してください。チューブの穴をラッチの穴に合わせ、クイックリリースピンを完全に挿入してそれらを固定してください。
- 手順 4a と 4b を繰り返し、DRM12A スピーカーをアレイに追加してください。
- アレイをお好みの位置まで吊り上げてください。



#### 5. FB100 フライバーに DRM12A に取り付ける

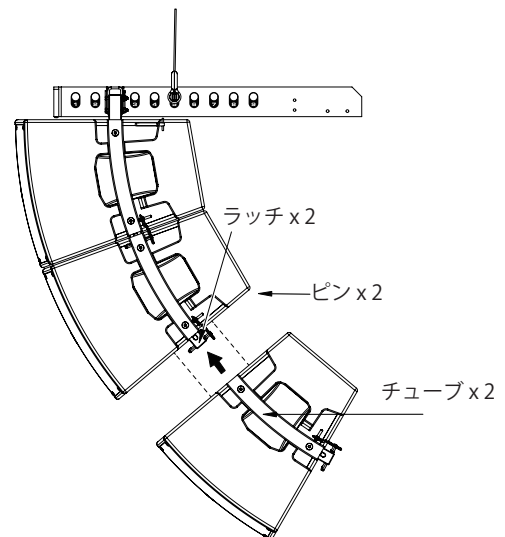
最初の 2 台の DRM12A を FB100 フライバーから吊り下げるのは 1 人でも行うことができます。3 台目または 4 台目の DRM12A スピーカーを吊り下げる場合は、最低 2 人で行う必要があります。

- 希望するリギングポイントで FB100 フライバーにホイスト装置を取り付け、フライバーを吊り上げてください。
- DRM12A を最大 2 台までフライバー下の安定した平らな場所で積み、固定してください。これらの作業工程は 3b から 3d に記載されている内容と同様です。
- FB100 フライバーを下げて配置してください。フライバーの両側のクイックリリースピンを外し、ラッチを最上段の DRM12A スピーカーのリギングチューブに挿入してください。チューブの穴を掛け金の穴に合わせ、クイックリリースピンを完全に挿入してそれらを固定してください。



DRM12A x2 スタック

- アレイをお好みの位置まで吊り上げてください。



3 台目、4 台目の DRM12A スピーカーを追加する際は一つずつ取り付け、最低二人以上で行ってください。これらの作業工程は 4a から 4c に記載されている内容と同様です。

# グランドスタック

## 6. FB100 グランドスタック用フットキット

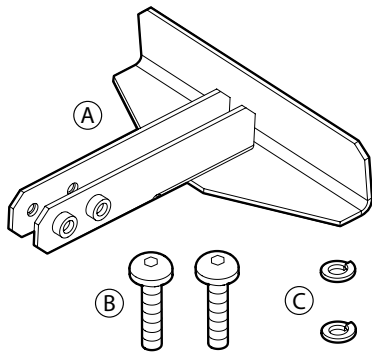
FB100 フライバーで DRM12A スピーカーをグランドスタックする場合は付属のグランドスタック用フットキットが必要になります。このキットは以下のパーツで構成されています。

FB100 フライバーグランドスタック用フットキット内容：

アイテム	数量	内容
A	1	アセンブリブラケットフット FB100
B	2	6M スクリュー x 30mm Lg
C	2	ロックングワッシャー 6M

必要な工具 (別売)：

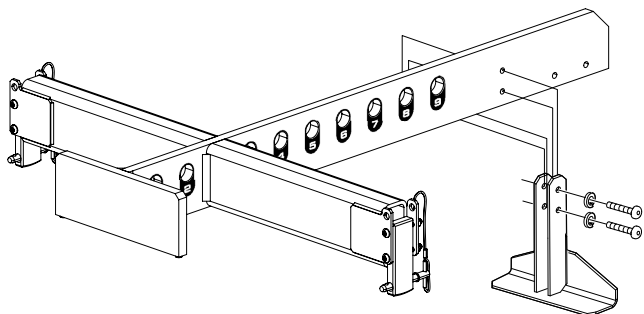
4 mm 六角スパナ



## 7. グランドスタック用フットを FB100 フライバーに取り付ける

グランドスタックフットは、FB100 フライバーの下側に取り付けます。穴の番号の向きが正しく、フライバーのラッチが下を向いていればフライバーは正しい方向に向いています。ラッチはグラウンドスタック用途で追加の脚として機能します。

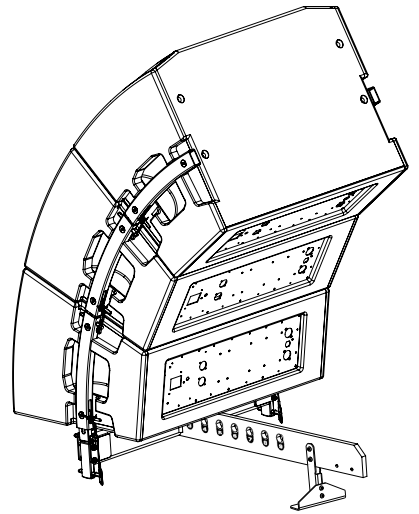
- フットキットの凹部分を前に向けて、2本のアームの間にフライバーを配置してください。
- フットキットの2つの穴をフライバーの穴に合わせます。
- 両方のネジとロックワッシャーをフットキットとフライバーの穴に通します。次にネジをフットキット二本目のアームにあるナットへ挿入してください。
- 4 mm 六角レンチを使用して2本のネジを締めてください。



## 8. DRM12A を FB100 フライバーにグランドスタックする

FB100 フライバーには最大3台の DRM12A をグランドスタックすることができます。最初の2台の DRM12A をフライバーに重ねるのは一人でも行うことができます。

- DRM12A を両側のリギングチューブがフライバーの掛け金の上に揃うようにフライバーの上に置いてください。
- フライバーの両側のクイックリリースピンを外してください。クイックリリースピンは掛け金に挿入し保管することができます。
- DRM12A の両側のクイックリリースピンを外してください。DRM12A のラッチがフライバーのラッチの上に落ちて挿入されます。
- DRM12A のラッチの穴とフライバーのラッチのすぐ上の穴の位置を合わせてください。取り外したクイックリリースピンを完全に挿入して、スピーカーを所定の位置に固定してください。
- 必要に応じて追加の DRM12A を積み重ねます。DRM12A には2本のリギングチューブとラッチしかありません。これらの作業工程は3bから3dに記載されている内容と同様です。



## 9. DRM12A と DRM18S をグランドスタックする

FKDRM18S を取り付けした DRM18S はグランドスタックのベースとして使用されるため、この場合 FB100 フライバーは必要ありません。

最大3台の DRM12A スピーカーを最大2台の DRM18S サブウーファーに積み重ねることができます。この作業は最低でも2人で行う必要があります。説明書の3aから3dに記載されているスピーカーのスタックと固定の手順に従ってください。

